

Rotary 

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

vol. **3**
2021.9



吉崎寛


ガバナー 月信

2021-2022年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 塚崎 寛



2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
ガバナーメッセージ	2
義援金送金のお知らせ	4
米山記念奨学生研修旅行報告	5
国際青少年交換委員会報告	14
ガバナー公式訪問クラブ報告	15
ロータリーコーディネーター NEWS	17
子どものころのわが町 長崎・編集後記	裏表紙

Governor's message



2021-2022年度 第2740地区ガバナー 塚崎 寛



高齢者施設で新型コロナウイルスのクラスター発生が減少傾向となって来た。第4波となった5月下旬は1週あたり70件前後で推移していたが、8月上旬には13件程に減った。介護職員へのワクチンの優先接種が進んだ効果とみられる。しかしながら、職員の家族内発生や、インド由来のデルタ株の影響で、全国の感染者数は、まだ増加傾向にあり、気は緩められない。

65歳以上の高齢者のうち2回目のワクチンを打ち終えた人は8月5日時点で80%に上る。しかし、ワクチン接種を終えたからと言っても安心してはいけない。接種していない人からの感染や、重症者が増える状況は、暫く続くであろうと言われている。デルタ株のウイルスの感染力の強さと、ワクチンの効果が下がっているという事実が出て来ている。介護現場では引き続き感染防止策が続き、面会・再会は当面中止としている所が多い。

8月8日に東京五輪が開会した。開会前に東京に緊急事態宣言を出し、大半が無観客となったものの、人の気の緩みによる感染拡大は拍車がかかり、繁華街や人の流れは大きくは減っていない。感染力の強い「デルタ株」も広がっている。お盆や夏休みになり、人流は益々増えて来ている。「五輪が続くなか、宣言は説得力がない。せめて海水浴ぐらいさせて」「五輪は開会するのに、自粛を求めるのは筋が通らない。」「皆んな外出しているから、ちょっとぐらいいいかな？」等々の言葉さえ聞かれる。気持ちは分からない事もないが、医療従事者からすると、もう少し事態を自覚してほしいものである。

さて、今後のロータリーの活動はどうなって行くのであろう。五輪と言う「祭りの後」の残された「つけ」は大きい。盛り上がり欠けた「祭り」に対し、組織委員会と政府がかかえた財政負担の「つけ」は国民にそのまま申し掛かって来る事であろう。世の中の景気の動きは我々のロータリアンの活動にも直結して来るであろう。デルタ株の出現によるコロナ感染症の鎮静化は、一刻も早いワクチン接種の普及と、私達の自覚による行動しかないとも言える。それでは例会を休会にすればよいのか？ 昨年から今後にかけては相次ぐ休会により多くのクラブで活動休止状態が余儀無くされ、例年継続されて来た奉仕活動の休止により、それを楽しみにしていた地域社会の人々も、ロータリアンも意気消沈してしまった。

私はクラブ訪問を通じて、新しい生活様式によるオンライン例会等の呼び掛けをしております。中々難しい事もありますが、終焉の見えない新型コロナウイルス感染症蔓延の中、ロータリーの灯を絶やす事のない様、各クラブ創意工夫を凝らして活動を継続してほしいものです。初めての試み

Governor's message

となりましょうが、会食の休止・時短・三密のさらなる回避・それに加えてオンライン例会の取り入れ等々です。皆で協力して考えてみませんか？

この原稿を執筆している今日は奇しくも 76 回目の原爆の日であります。既に被爆者の平均年齢は 83 歳を超え、その惨禍を直接知る人も少なくなってきました。医療崩壊が危惧され、暮らしと経済の抑制が続く、戦後最悪の混迷の時代となりましたが、私達ロータリアンは、その最終目的である世界平和の実現のため、ロータリーの灯を心に翳し、活動して参りましょう。

○ロータリー奉仕デー最新情報（8月12日現在） 9月12日（日）実施予定

全国 34 地区中 30 地区参加予定

海外を含めた参加登録人数 2 万人超え

当地区 56 クラブ中 49 クラブ参加（950 名参加）

IAC、RAC も参加

○7月7日（水）18時30分より、ザ・ホテル長崎プレミアム BW ホテルにて

第 2740 地区、花島光喜直前ガバナー御夫婦と迎雅瑠嗣直前地区幹事の慰労会が開催されました。13 名のパストガバナー・御夫人方はじめ上村ガバナーエレクト御夫婦・緒方ガバナーノミニー御夫婦・迎直前地区幹事・岡田地区幹事、総勢 29 名の参加のもと、楽しい慰労会となりました。花島光喜直前ガバナー・迎雅瑠嗣直前幹事1年間大変御苦勞様でした。有難うございました。

○7月7日（水）

慰労会に先立ちまして、17 時より同ホテルにて第 1 回ガバナー諮問委員会が開催されました。1 年間のガバナーの行動指針の発表と、年間行事予定、熱海の大規模土石流への当地区より 150 万円の義援金を承認して頂きました。

国際ロータリー第 2740 地区クラブ会長 各位

ガバナーノミニー・デジグネート推薦の件

国際ロータリー細則第 12.010 項により、2024～2025 年度ガバナーに就任するガバナーノミニー・デジグネート候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2021 年 11 月 30 日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第 2740 地区ガバナー事務所気付）に文書を以てご推薦下さい。推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。

ガバナーノミニー・デジグネートの資格条件は、国際ロータリー細則第 16.010 項をご参照下さい。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナーノミニー・デジグネートになります。

ガバナー 塚崎 寛

義援金送金のお知らせ

地区幹事 **岡田 康信**

この度の熱海豪雨災害により被害を受けられた被災者のみなさまに心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

第 2740 地区は第 2620 地区熱海豪雨災害支援本部に義援金として150万円送金させて頂きましたので、ご報告申し上げます。



2021年7月14日

国際ロータリー2740地区
ガバナー 塚崎 寛 様

国際ロータリー第2620地区
ガバナー 小林聡一郎

熱海豪雨災害支援金を賜り御礼申し上げます

謹啓

盛夏の候、貴地区におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度の熱海豪雨災害に際し、年度早々にもかかわらず早速に支援金をお送りくださり誠にありがとうございました。心よりの感謝を申し上げます。

お送りいただいた支援金はRID2620熱海豪雨災害支援本部で取りまとめ、配分につきましては、ロータリーとしてできる有効な支援を検討してまいりたく存じます。

なお、配分等詳細につきましては、支援金受領終了後に改めてご報告させていただきますので、何卒よろしく願いいたします。

ガバナー並びに貴地区会員皆様の温かいご支援に、深く感謝申し上げます。

時節柄、お身体大切にお過ごしくださいませ。

略儀ながら、取り急ぎ書中にて御礼申し上げます。

謹白

米山記念奨学生研修旅行報告

米山記念奨学委員会 委員長 **松田 洋一**（諫早北RC）

7月17日(土)～7月18日(日)の2日間の日程で、五島福江市に研修旅行を実施しました。前々から地域的に奨学生と接する機会があまりない福江RCと、福江中央RCの皆様へ、日頃の米山奨学事業への支援のお礼をお伝えする為の計画を立てた事があったのですが、悪天候になった時のリスクを考えて実現出来ずにいました。今回、梅雨明けの良いタイミングで計画を実現出来ました。

参加者は、奨学生が15名、学友が3名、同行の地区委員が4名の計22名でした。初日は、佐賀地区の奨学生4名を14時50分のジェットホイルの出発時間まで原爆資料館とグラバー園に長崎観光させた後、長崎地区の奨学生の皆と合流して福江に向かいました。福江港に到着後、第9グループの張本ガバナー補佐が、ご家族でお出迎えをして頂きました。カンパーナホテルでの交流会では、福江RC・福江中央RCのメンバーの方々と合流し、日頃の奨学事業に対してのお礼を申し上げ、山下会長(福江RC)、富川会長(福江中央RC)より歓迎のご挨拶を頂き、奨学生や学友1人ひとりに自己紹介をさせました。懇親会では、奨学生を各テーブルに振り分けて座らせ、ロータリアンの皆様との親睦を深める事が出来たものと思います。

2日目は、福江島の観光コースを見学しました。内容は奨学生がレポートを出していますので、見て頂きたいと思います。

今回の研修旅行は、離島のロータリアンの方々と親睦を深め、又、奨学生同士がコミュニケーションを取れる様になった大変思い出深い研修旅行になったと思います。福江RC・福江中央RCの皆様には、温かいおもてなしとお心づけまで頂きまして、本当に感謝申し上げます。

尚、両クラブより、頂戴しましたご芳志は、各クラブの特別寄付として、米山記念奨学会に寄付をし、当地区の実績になる様にさせて頂きました事を報告致します。



米山記念奨学生研修旅行報告

エルビン レン ジュンコウ (牛津RC)

今回研修旅行ということで、初めて五島列島に行かせていただきました。朝一に佐賀を出まして、眠たかったですが、長崎市内で原爆博物館やグラバー園などを回ることができて、早速長崎を満喫できました。そこからちゃんぽんを食べ他の奨学生と集合して五島列島へと向かいました。五島列島に着き、海の空気を吸い、研究と就活で多忙の中一足早い夏休みが始まった感じがしました。五島列島では一日目の夜ご飯だけではなく、二日目も美味しい刺身を食べることができて、お腹が非常に満足できました。一日目は奨学生と食後に集まり、酒を交わしながら語り合い、一段と仲が深まったのではないかと考えています。二日目は展望台や綺麗な砂浜など五島列島を1周して様々な箇所を巡ることができましたが、半日ほどしか時間がなかったため、十分に五島列島の魅力を感じ取れなかったのではないかなと個人的に思っています。ですので、いずれまた私自身でゆっくり時間をとって五島列島の綺麗な大自然と食べ物を改めて堪能したいなと思っています。

アンスンヨブ (佐賀西RC)

今回、私はロータリークラブ2740地区の米山奨学生研修旅行に参加し、五島での楽しい二日間を過ごしてきた。

日本に来て4年目になるが長崎へ旅行に行ったこともなく、五島は聞いたことがあったくらいで旅行に行こうなんて思ったこともなかったが、研修旅行の場所が五島に決まったことを聞いてから私は興奮を隠すことはできなかった。十数年ぶりに船に乗り、五島へ到着して初めて思ったことは「風がしょっぱい！」だった。海の風は都会育ちの私には新鮮な経験だったのだ。1日目は福江ロータリークラブの地区委員の方々と交流会を行った。地区委員の皆さんは我々を留学生以前に一人の人として尊重しようとするのが感じられててすごく嬉しかった。二日目からは観光を楽しんだ。その中でここを訪ねるためにもう一度五島に来たいと思ったところがあった。それは「鬼岳」だ。最初鬼岳に着いた頃までは何も期待していなかったが、約5分程度坂道を上って目にしたのはかつて経験したことのない大自然だったのだ。緑と青が終わりもなく広がっているその姿に私は感動してしまったのだ。今回は曇った鬼岳しか見れなかったが、ぜひ晴れたときの鬼岳を見てみたいと思う。

米山記念奨学生研修旅行報告

..... ヨス チャンラダ (佐賀北RC)

7月に入ってから梅雨が降り続け、曇ったり雨だったりする晴れのほぼない毎日が続いていくと思いきや、半分の下旬は太陽が高く上り暑い毎日になりました。こんな天気の中で皆様はお元気でいらっしゃっているのでしょうか。

7月17-18日の2日間でわたくしは米山記念奨学生と地区委員の方々と五島へ行ってきました。1日目、原爆資料館で見学し、教科書やネットなどで原爆のことを知りましたが、ここでは改めて戦争の悲惨さを実感しました。このような悲惨が二度と起こらないためには、文化や考えが違う私たちがお互い理解し合い平和を築かねばならず、これこそがロータリーの目的であることを改めて思いました。2日目、ホテルからバスで出発し、歴史の長い大宝寺や日本一美しい高浜海水浴場などいろいろなところに連れて行っていただきました。2日間、五島の神様が雲にお乗りになり、見守ってくださったような天気で暑くなくとてもよかったです。

2日間の五島旅行を計画していただき、感謝の念に堪えません。おかげさまで、五島のロータリアンの方々と交流でき、奨学生の皆とも仲良くなり小さな平和を築くことができました。このことをオモイデとして心の中に大切にしまっておきます。

..... アマルトゥブ ガルバドラフ (佐賀南RC)

7月17日～18日の五島研修旅行に行く機会を与えて頂いて誠にありがとうございました。パンデミックがまだ続き、世の中が大変な事態に旅行に行けるといふ贅沢を味わえて本当にありがとうございました。福江ロータリークラブの皆様の暖かい歓迎に感謝しております。出前卓話を前に2740地区のロータリアンとの最初の交流が出来たと思っており、本番で緊張感をもって、母国のことを多くのロータリアンに知っていただくように頑張りたいと思います。

五島列島の観光地を巡り、地元の美味しい御飯をいただき、美しい自然に触れることで気持ちのリセットができました。日本一美しい白い砂浜の高浜海水浴場に気持ちが晴れ、鬼岳火山の頂上の景色が母国の草原を訪れたかのような気分してくれました。この旅行で初めて体験することが多く、この刺激を機会にコロナ禍に出来なかった様々なことにチャレンジしたいと思います。色んなことに挑戦して行くと、失敗したり行き止まりになったりすることがあると思いますが、ロータリアンの皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

米山記念奨学生研修旅行報告

ラ ケツキン

羅潔欣 (佐世保南RC)

7月17日と18日に一泊二日の研修旅行に参加した。旅行先は長崎県の五島列島である。数々の絶景と歴史がある福江島で素晴らしい二日を過ごした。その二日間で体験したことを簡単にまとめた。

一日目に印象に残っていたのは船から降りた時に見た景色と夜の二次会である。初めて五島に旅行したので、船から降りた瞬間目の前の景色に引かれた。海が綺麗だった。天気も良くて、景色がもっと綺麗に見えてきた。食事が終わった二次会は楽しかった。初めてプライベートで奨学生のみんなと話し合い、距離感が一気に短縮してきた。皆がスーツでなく、私服で着ている姿も新鮮だ。奨学生の皆は色々な国から来ているが、日本語を使って、交流することもできた。二次会で色々な国の文化を知り、各国の言語も少し勉強した。貴重な思い出を得られた。

次の日に五島の観光を本格的に始めた。ガイドの紹介のおかげで、各観光地の美景だけでなく、歴史と文化も理解した。福江島の色々な観光地に行ったが、その中で一番印象が残ったのは一人だけ住んでいる島である。びっくり過ぎて、ずっと気にしていた。本当にすごかったと考え、ネットでもその島について調べた。それだけでなく、福江島の美景も素晴らしかった。鬼岳の景色は綺麗過ぎて、撮影が止まらない。コンピューターの背景みたいな景色があって、その景色をずっと残していきたい。残念ながら、他の奨学生のように山頂までに行くのはしなかった。もし次に機会があれば、その山頂に登りたい。

二日の研修旅行は楽しかった。やはり楽しい時間は早い。でも、短い時間が、二日を満喫していた。たくさん貴重な思い出を得られた。この二日の感動を伝えて行きたい。もし機会があれば、周りの人々に五島の素晴らしさを勧めたいと思う。

ドーナツ (佐世保北RC)

五島は私にとっては初めての訪問でした。短い研修旅行ですけど、心に残ったものはたくさんあります。特に印象深かったのは大瀬崎灯台です。灯台が立つ大瀬崎断崖は西海国立公園の特別地域に指定されています。灯台まで行かなかったけど、展望台から開放感があり空と海そして島を一望できる本当に美しい景色を眺めました。行った時に、天気は曇りだったので、晴れたらもっと綺麗だろうなと思います。

そして、五島では景色が美しいだけでなく、食べ物もとても新鮮です。日本の鯨食文化を聞いたことがあります、クジラを食べるのは初めてです。とても美味しかったです。クジラのほとんどの部分が赤身ですけど、私が食べたのは白い方です。調べてみると、これはクジラの尾の部分です。骨はなく脂肪、ゼラチン質が豊富です。雪のように真っ白な姿があります。そして、独特の歯ごたえのあるいい食感でした。初めて五島に行きましたが、楽しい研修旅行になりました。この思い出を武器にこれからはお勉強を精一杯頑張ります。

米山記念奨学生研修旅行報告

リム チン タイ

林璟祈 (雲仙RC)

先日同期のロータリ米山記念奨学生たちと地区委員たちと一緒に五島へ行ってきました。二人の先輩たちも参加してくれました。一日目は午後2時半くらいにジェット船に乗り、午後四時半くらいに五島に着きました。着いた後、ホテルにチェックインして交流会ディナーに参加しました。そして、奨学生たちと一緒にお酒を飲みました。酒を飲む際、様々な交流ができ、とてもよかったです。その後、私は友だちと散歩に行きました。二日目はいろいろな観光地に行ってきました。一番印象深い観光地は海でした。きれいな海でみんなと素足になって涼しい海で遊んだりしました。五島は二回目ですが、一回目より楽しかったです。散歩していた時に、ホテルの近くの港で、アカエイが海の表面で泳いでいるのを見ました。最初は何かわかりませんでしたでしたが、人生で忘れられない思い出になりました。その夜の輝いている黄色くて丸いアカエイは今でも思い出します。この旅はたぶん今年で最後の旅になるでしょう。コロナ禍で友だちと一緒に旅行ができ、とても幸せでした。

アン ヒウン

安喜恩 (諫早北RC)

今回、1泊2日の間、米山奨学生として五島列島へ研修旅行に行ってきた。米山奨学生の先輩や友達と旅行に行くことは初めてであり、新型コロナウイルスの影響により長い間、旅行ができなかったため、研修旅行に参加する前から楽しみにしていた。

福江港に到着後、「五島つばきホテル」まで歩いて移動した。私はセラ先輩・チンさんと同じ部屋を使うことになり、1時間の休憩の間、様々な話を交わした。その後、「ロータリークラブ福江地区」の方々と夕食をしながら話を交わした。五島の方言に関する話や、40年前韓国に行った話など色々な話をしながら楽しい時間を過ごした。

2日目は、大宝寺、大瀬崎断崖・灯台展望所、高浜海水浴場、遣唐使ふるさと館・焼酎工場、鬼岳、鐙瀬溶岩海岸を観光し、長崎港に戻るため福江港に向かった。福江港ではもらった商品券でお土産を買ったり、今後また五島に来たい気持ちで五島旅行の案内パンフレットを見たりした。

今回の米山奨学生研修旅行のおかげで「五島」という美しい島を初めて知った。旅行中、ネットがつかない時や、道に放置されている廃家や廃校を目にする時は、五島の田舎さを実感したが、青い空と海に囲まれた自然は五島を田舎のままに保護して欲しいと思うくらい美しかった。さらに、五島弁の独特で柔らかいイントネーションを聞くと心が落ち着き、とても魅力的な方言だと思った。五島の自然とともに五島弁も保存し、より多くの観光客が五島の魅力を味わってほしいと思った。

米山記念奨学生研修旅行報告

..... **グエンバンアイン** (諫早南RC)

私はグエンバンアイン(NGUYEN VAN ANH)と申します。ベトナムのバクザンから参りました。現在、鎮西学院大学現代社会学部外国語学科の4年生です。諫早南ロータリークラブでお世話になっております。

今月(7月)17日から18日まで研修旅行としてジェットfoilで米山奨学生と一緒に五島に行ってきました。奨学生の15人、学友会の3人と地区委員の4人と一泊二日を楽しく過ごしてきました。五島のロータリアンは私たちを福江島で迎えに来てくれました。ロータリアン皆様と貴重な交流会ができて本当に嬉しかったです。私は初めて五島列島を訪れますから、行く前にすごくドキドキし、楽しみにしていました。五島列島は温暖な気候と豊かな自然を残す島々です。ここで私は色々ことを学びました。例えば、五島列島には大学がありません。学生たちは大学に進学したいなら、五島を出て大学に行きます。だから、人口も少なくなる一方です。ある小学校、中学校も閉校になります。また、ここで無人島も多いです。一番印象に残ったことは黒島の人口は1人です。この情報を聞いて、本当にびっくりしました。1人だけ島で生活するのがすごく大変だと思います。話す人がいないから、うつ病になる可能性があると思います。私だったら、無理です。ところで、ここで有名な食べ物もたくさんあります。例えば、うにめし、クエ鍋、五島うどんと五島牛などがあります。また、機会があればもう一回五島列島に行きたいです。

この2日間、皆さんと一緒に遊んで、たくさんのお話しができて、いい思い出ができました。他の奨学生と仲よくなったような感じがして、非常に嬉しいです。私にとって、とても有意義な研修旅行でした。

今回の研修旅行を準備してくださった地区委員皆様に心から感謝いたします。

..... チン イ テン
陳怡婷 (長崎RC)

今回、1泊2日で五島へと研修旅行へ行った。私は五島に行くことができなかったが、とても楽しい時間を過ごすことができた。一日目は長崎港から目的地の五島へそれぞれ出発した。五島に到着してロータリークラブの会員の方から五島の概要説明を受けた。五島は、離島という地理的な問題もあるが、年々人口が減少している。進学や就職のために、島を離れる人が多く、人口流失が急激に進んでいる。会員の食事を通じて、五島に対する認識を深めた。二日目は、バスに乗りながら町内を巡り、観光スポット・歴史遺跡・郷土料理・お土産などを訪れた。現地を目の当たりにすると、場所やおいしそうなのが多くあり、みんなも買物に満足した。楽しむときは楽しみ、学ぶべきときは学ぶという態度で有意義な二日にすることができた。

米山記念奨学生研修旅行報告

テイ ウキン

..... 丁宇欣 (長崎西RC)

子供時からたくさんの旅行に参加してきましたが、一番特別なのは、今年米山奨学生、ロータリーの皆さんと一緒に五島市に行ったことです。世界各国の友達と行ったことのない五島市に行くのでも楽しみでした。船で五島市に到着後、街を眺めながらホテルまで歩いて行きました。ホテルの近くは福江城の古跡です。五島市の最初イメージは自然の風景が美しく、静かで、歴史的な都市でした。

一日目は福江ロータリーのメンバーと一緒に夕食を食べました。交流を通じてお互いをよく知りました。五島市についても紹介してくれました。五島列島は、遣唐使の寄港地で、東西文化の重要な中継点でもあったことから、遣唐使の時代に、五島列島に伝わったと言われています。日本三大うどんの一つと称される「五島うどん」も食べられました。

二日目、地元ガイドの案内のもとに、私たちは多くの観光地を見学しました。また、海辺に立って向かい側の黒島を眺めていました。ガイドの紹介によると、この島には71歳のおばあさんが一人で住んでいます。生活面ではとても不便と思います。ますます多くの人が大都市に行った中で、おばあさんはずっとこの島で生活しています。これが五島の魅力だと思います。

今回の旅行は皆さんともっと交流する機会を与えてくれました。将来は世界平和交流に貢献することを期待しています。

チョウ カイウ

..... 趙海宇 (長崎北RC)

今月は研修旅行として五島に行った。長崎に住んでもう四年目になったが、こんな近くの五島は今回が初めだった。前からずっとそこに行きたいと思っていたが、今回やっと行った。土曜日の午後、長崎港からフェリーで一時間半ぐらい五島に到着した。

夜ご飯は五島の福江ロータリアンや福江中央ロータリアンの皆様と一緒に宴会を開いた。五島の話のいろいろ教えてくれてすごく興味になった。翌日の旅行がもっと楽しみになった。泊まったホテルに戻った後、奨学生たちまた集まって、ビールも飲みながら自分のことをはじめ、いろいろおしゃべりして楽しかった。せっかくのチャンスでみんな仲良くなってきた。

翌日、バスツアーで五島を回った。あまり暑くない一日、朝雨もちよこちょこ降って、非常に気持ちがいい一日で、まるで天の恵みだったと思った。お寺に行った途中で可愛い猫ちゃんを見つけた。高浜浴場に行った時、止まった時間短いけど、水に足を伸ばしたり、遊んだりして楽しかった。鬼岳では非常に綺麗な景色が見られて、芝生に寝たりして、楽になった。皆が「ここに住んだらいいなあ」と言われて、誰でも好きになるところ。鏡瀬熔岩海岸での展望台から、赤島、黄島、黒島、大板部島と小板部島が見える。ガイドさんから無人島と有人島があって、有人島でも住んでいる人が少なく、黒島がなんと一人しかいないと聞いて、驚いた。

短い時間だが、五島の魅力がよく理解でき、またいつかもう一回行って、ほかの小さい島でも行ってみようと思っている。今回で研修旅行のきっかけで奨学生の皆さんと仲良くなって、今度また集まって一緒に遊びに行きたいと思う。

米山記念奨学生研修旅行報告

ダムティフェ (長崎南RC)

7月17日、18日は米山奨学生の視察、研修旅行を通して、2日間で楽しい旅行を経験した。私は5年間で、ずっと長崎に住んでいるが、五島へ行く機会がない。初めての五島でとても感動した。

一日目、私たちは午後15時10分に長崎港に集合して、40分後で、船に乗った。奨学生と一緒に行くのは地区委員たちだ。船で2時間ぐらいがかかって、五島が私たちの目の前に見えた。海がきれいで、五島の人がとてもやさしいとすぐ感じられる。福江港から私たちが泊まったホテル「GOTO TSUBAKI HOTEL」まで歩いて10分ほどである。ホテルで、私たちは二人、三人で部屋を分けて、一緒に泊まった。荷物を部屋に置いた後に、カンパーナホテルのレストランで、食事をとった。その間に、地区委員たちと福江RCの方と奨学生たちが一緒に話しながら、ご飯を食べた。五島の料理は特に刺身がとても美味しかったし、いろんな面白い話も聞かれて、ほんとに嬉しかった。

二日目、私は夜あまり寝れなかったので、朝早く起きた。ホテルのレストランで朝ご飯を食べた。それから、朝9時に部屋を出て、五島研修旅行の1日が始まった。優しいツアーガイドを通して、私たちに五島の沢山きれいな場所を紹介してもらった。五島には美しい自然や歴史的な見どころがいっぱい。特に大瀬崎灯台、水ノ浦教会、高浜海水浴場、展望所はもっともきれいだと思う。また、帰る前に、五島の方言も聞かれた。「カサゴ」には「アラカブ」、「怖い」には「おとろしか」、「可愛い」には「みじよか」... 本当に面白かった。

2日間で早かった、地区委員たちと奨学生たちが一緒に話したり、遊んだりして、良い体験ができたと思った。私は、今回の旅行はよくイメージを残っていて、忘れられないと思う。これに、私が米山ロータリーと皆様に本当にありがたいです。これから、自分も一生懸命頑張りたいと思う。

チャンティキムユン (長崎中央RC)

7月17日から18日に研修旅行で米山ロータリーの奨学生と一緒に五島へ行かせていただきました。この2日間にはいい思い出、面白い体験ができました。

皆と一緒に遊んだりたくさん話しをしたりしました。特に、韓国の「Gangnam Style」やモンゴルの「大草原のママ」など有名で感動する歌をお互いに歌って聞きながら踊りました。それだけではなく、それぞれの私たちの言語で挨拶や簡単な文やほめる言葉もお互いに教え合いました。他の奨学生と仲良くなってとても嬉しいです。これを通していい思い出ができました。

今回の研修旅行でははじめての体験がたくさんありました。最初はジェットフォイルで移動することでした。車は一度も酔ったことはありませんが、船は初めて乗るので、薬を買っておきました。考えたことに反して、船に乗るのは気楽だ感じました。次に、地区委員の方と夕食をいただいた時に、五島の昔から今までの面白い話を聞かせていただいたりしました。

研修旅行の中で、一番楽しかったのが五島の観光地へ観光したことです。それぞれのところへ行った時、観光のみならず、ツアーガイドの方にその観光地の歴史も詳しく説明していただきました。記念のためにきれいな写真も取りました。

今回の研修旅行を準備してくださった地区委員の皆様と米山ロータリーに心から感謝いたします。

米山記念奨学生研修旅行報告

チョウ ソ ゴウ

張楚豪 (長崎出島RC)

日本に来て二年になりますが、どこにも行ったことがありません。今回は五島に行くのは日本に来たのは初めてです。行く前に攻略を調べましたが、五島市は長崎県に属していて、複数の島から構成されています。また五島列島とも言います。今回は五島列島で一番大きな島、福江島に行きます。

私は中国の内陸都市に生まれたので、小さい頃から海に憧れていました。だから、今回の旅行に期待していました。船から降りると、やはりがっかりしませんでした。遠くの海と島がつながっていて、小さなボートが海の上を漂っています。これはアニメの中で見た私のイメージの中の日本です。もし私がこのようなところに住んでいたらいいと思います。

一番印象深いところは大瀬崎の灯台で、断崖絶壁の下には紺碧の海があり、白い波が石に打ち寄せています。また、久しぶりの草原です。鬼ヶ岳の芝生に寝そべって夏のそよ風を感じ、都会の喧噪から離れました。最後に、このような機会を与えてくれてありがとうございます。



国際青少年奉仕委員会報告

国際青少年奉仕委員会 委員長 樋口 征司 (諫早南RC)

第1回オリエンテーション議事録

7月25日(日) 諫早文化会館で第1回 地区委員会ならびにオリエンテーションを塚崎寛ガバナーと岡田康信地区幹事にもご出席いただき開催しました。

委員長より報告

- RI より 2022. 07. 01 より交換留学が再開できる旨の通達があった。ただし、コロナ次第では中止になる可能性もあるとの条件付き。
- オーバーエイジの件。RYJEM の近藤氏の見解として、各地区より派遣先(相手国)との協議をして決定して行く。(つまり地区の裁量に任せるとのこと)
- 現在オーバーエイジ(OA)として2740地区では2名の候補者がいるが、①相手国の問題 ②学校の問題 ③スポンサークラブの問題などをクリアしなければならない。
結果、行けない可能性もあることは条件付きにする。

まずはこの2名については8月10日までのエントリーはするものの、スポンサークラブの佐世保南RCの理事会の結果を踏まえ、今後残りの問題をすすめていくようにする。

当日現在、募集はしているものの候補者は、昨年度からの堀川純二郎さん(雲仙RC)、川添瑠々奈さん(佐世保南RC・OA)安達凜さん(佐世保南RC・OA)川添陽斗さん(唐津RC)と本日のオリエンテーションにオブザーバーでの参加の北島悠香さん(一昨年の候補生北島爽花さんの妹)の5名の参加がありました。

塚崎ガバナーより温かい労いの言葉をかけていただき学生はとても感謝していました。その後4名の学生がひとりずつスピーチをし、2年間の交換プログラムが中止となりその2年間の思いと今後の思いを話してもらいました。

学生のスピーチの言葉にはこの辛い経験をバネにひと回りもふた回りもの成長したのを感じ取りました。この学生の皆さんは辛いことがあってもきっと乗り越え楽しい留学生活を送れることでしょう。

追記。

当日オリエンテーション後の個人面談により、安達凜さん(佐世保南RC・OA)が大学受験の為辞退されました。

ガバナー公式訪問クラブ報告



佐世保南RC

7月16日(金)

会長 山口 嘉浩 幹事 橋本 昭

2021-2022 年度ガバナー公式訪問に、国際ロータリー第 2740 地区塚崎寛ガバナー、岡田康信地区幹事、小川信第 6 グループガバナー補佐、高田昌一郎地区事務局長の4名にご来訪いただきました。

当クラブではコロナ渦により例会自体が行えない中、今年度より例会場および事務局を セントラルホテル佐世保へ移しての公式訪問となりました。

卓話では、RI会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」についてを、いかに人に対して奉仕することが自分を幸せにするのかをお話いただきました。

また、会員拡大(女性会員や若年層)や地球環境保全プロジェクト「ロータリー奉仕デー」への取り組み等お話いただき大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

塚崎ガバナーにおかれましてはお体に留意され多忙な一年間を無事過ごされますよう、当クラブ一同心よりお祈り申し上げます。



鹿島RC

7月20日(火)

会長 荒木 範光 幹事 峰松 明彦

塚崎ガバナー、第3グループ山口ガバナー補佐、岡田地区幹事、林田地区副幹事、増井地区副事務長を猛暑の中にお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催しました。

懇談会はせっかくの良い機会ですからと、クラブ理事までの参加願いを快く承諾頂き有難うございました。

初めに会長よりクラブ計画書の主な行事説明、副幹事よりクラブ概況報告を行い、その後ガバナーより地区方針説明・質問等を行い例会へと移行致しました。

9月12日奉仕デー用の旗を贈呈頂いた後のガバナー卓話におきまして RLC 設置、会員増強(当クラブは女子会員比率、地区の目標 7%達成済)、ローターアクトとロータリーの関わり方、今後の例会の開催の方法、寄付目標、ロータリー奉仕デーの意義説明がなされました。

この中で奉仕=親睦の説明をされ、当クラブは非常に良質の親睦が行われていると今後の運営に勇気づけられるお褒めの言葉を頂きました。

塚崎ガバナーを初めご来訪頂きました皆様に感謝の念を申し上げますと共に、引き続きご指導を宜しくお願い致します。(副幹事 高松 茂信)



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀大和RC

7月20日(火)

会長 内田 早美 幹事 古賀 伸忠

塚崎寛ガバナー、吉田政亮ガバナー補佐、大家和義ガバナー補佐エレクト、岡田康信地区幹事、林田剛地区副幹事、増井直実副事務局長をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

懇談会では内田会長の会長方針について丁寧にアドバイスや質問をしていただきました。「新しい時代のロータリーを共に考え、行動しよう」。ガバナーの行動指針について、新しい時代に即した組織作りを目指し、中長期的な考え方で運営を行う必要性をご指導いただきました。

また、例会の卓話では、9月12日に全国で開催する地球環境保全プロジェクトの参加についてご説明いただきました。一人一人の小さな奉仕活動が、世界環境に貢献できると感じました。

他にも、会員増強の方法など多くのことを数値化され、大変わかりやすく説明していただき、参加された会員にも共感できる例会となりました。



佐世保東南RC

7月21日(水)

会長 里元 浩二 幹事 高比良 耕一

当クラブは塚崎ガバナーの公式訪問を受けました。
ご多忙の中、ガバナー訪問誠にありがとうございました。

具体的には、午前11時30分より役員等を交えての懇談会、午後12時30分より例会、午後1時30分までそれぞれ行われました。

塚崎ガバナーには懇談会の際に、当クラブの現状報告を熱心にお聞き頂きました。

小川ガバナー補佐からも当クラブの活動を追加でご説明して頂き、目配り、心配りして頂いていることに、会長はじめ会員が感激し嬉しく思っております。

今後の当クラブについての計画、実施、そして今年度の目標を示していただき、また激励のお言葉を頂戴いたしました。更なる努力をし、ロータリーの発展により一層尽力していく所存です。

また当クラブは創立30周年を控えており、佐世保東南ロータリークラブの結束が試される機会です。皆さまのご協力をいただき必ず成功させます。今後ともご協力よろしくお願ひ致します。

本当に充実した有意義なガバナー公式訪問となりました。





コロナ禍での会員維持増強

東京オリンピックは終わりましたが、新型コロナウイルスの感染の猛威は止まりそうにありません。皆さまのクラブはこのコロナ禍でどのように活動されているのでしょうか。

ロータリーの活動を推進するうえで、会員の維持増強が重要なテーマであることは疑いを容れません。今年度のシェカール・メータRI会長は、“Each One, Bring One”のスローガンを掲げ、会員増強を強く呼びかけられていますが、コロナ禍で各地区とも苦戦を強いられているのが現実かと思えます。

そのような中、前年度末の6月27、28日に開催された第1第2第3地域合同の「クラブ活性化セミナー」では、会員維持増強に奮闘している地区・クラブが紹介されました。まずはこれまで会員増強に顕著な実績を挙げ、前年度もコロナ禍を跳ね飛ばして純増5名を達成した大宮西ロータリークラブ（第2770地区、染谷会員発表）から、「入会候補者カード」の活用、会長自ら入会候補者を説得する、クラブ内に共通の趣味を持つことなどで集まる部会制度を設けるといったような様々な工夫が紹介されました。続いて最近の「ロータリーの友」でも特集されるなど、今注目を集めている衛星クラブの実例が二つ紹介されました。一つは「典型的な地方都市」を自認する北海道の岩見沢ロータリークラブ（第2510地区、西方会員発表）から市内の若い世代に働きかけて衛星クラブを創立し、自クラブを活性化した経験が発表され、また、全員がROTEX（青少年交換学友）という共通の基盤をもつ国際性豊かな会員で構成する衛星クラブを創立した東京北ロータリークラブ（第2580地区、浅田会員発表）の発表がありました。これらの発表を通じ、ロータリークラブにとって衛星クラブとは、単なる会員予備軍の獲得ではなく、ロータリークラブの新たな展開、発展の起爆剤であることを実感しました。さらに、ロータリーの「多様性」を語るうえで重要なキーワードである女性会員の拡大について、女性会員の比率では低位に属する第2680地区（梅原会員発表）から、女性の有業率など客観的な統計データから地区特有の状況を分析し、これからは従来の企業経営者や特別な資格を有する専門職だけではなく、意識が高く、奉仕の精神や思いやりの気持ちを持った「女性社会人全般」を視野に入れる必要があるとの発表があり、会員増強の在り方に一石が投げられたように感じました。

このクラブ活性化セミナーのデータは各地区に配信されています。参加されなかった会員が一人でも多く視聴されることを期待しています。必ずや皆さまのクラブの活性化のヒントを提供できると確信しています。

第3地域 ロータリーコーディネーター 滝澤 功治（神戸須磨RC）

「ロータリー奉仕デー」に参加しよう！地球環境保全プロジェクト（海岸清掃）について

2021-22年度に、シェカール・メータRI会長提唱のもと、国際ロータリーが全世界で実施を計画している「ロータリー奉仕デー」の一環として、Rotary TEAM JAPANは「地球環境保全プロジェクト」を展開します。これは、世界のロータリアンが同じ日に海岸や河川、湖沼の清掃をロータリーファミリーや他のボランティア団体、地域住民と共に実施するグローバルイベントです。

「環境」は、国際ロータリーの7番目の重点項目となりました。

そこで国際ロータリー第2820地区は、以前より計画していた海岸線の一斉清掃を9月12日（日）に近隣の地区と一緒に実施します。この計画を日本全国の地区に広めていく計画で、国際ロータリーもこの計画を推奨しております。

この取り組みを、第2820地区のみならず、全国的に拡大する事ができれば、素晴らしい事業になるのではないかと予感しております。

現在日本のロータリーは、課題として、会員増強と公共イメージの向上に取り組んでおります。もちろん、他にも重要な課題があることは承知しておりますが、個人的には、この2つを重要視しております。

会員拡大には、ロータリークラブ自身の魅力、会員自身の充実感、満足感がなければなりません。また地域社会の皆さま方からの認知・評価等も重要な要素であると思えます。Each One, Bring Oneは、会員自身にロータリーに対する評価がなければ、難しいでしょうし、地域社会からの肯定的評価がなければ、これまた困難だと思えます。

ロータリアン自身の意欲を喚起し、地域社会からの良い評価をうけるために、各地区、各クラブはそれぞれ努力されてきたと思います。しかし、その結果は物足りなさを感じておられるのではないかと感じております。

会員の意欲を高め、地域社会の認知度を高める一つの方法として、「ロータリー奉仕デー」のプロジェクトを活用してみれば、如何でしょうか！

各地区、各クラブの皆さまのご検討、ご理解をお願い申し上げます。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑原 征一（新居浜RC）

Rotary 2021-2022年度



地区大会

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

11/27(土) 会場 出島メッセ長崎

ごあいさつ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



ガバナー 塚崎 寛



実行委員長 植松 俊徳

国際ロータリー第2740地区2021～2022年度地区大会を塚崎寛ガバナーのもと開催することになりました。長崎市としては5年ぶりです。

会場は、来年の新幹線開業を控え、11月1日にオープンする出島メッセ長崎（長崎駅直結の本格的コンベンション施設）。新しく生まれ変わった長崎駅周辺を多くのロータリアンの皆さまにご覧いただけます。

また、オリンピック会場（新国立競技場）の設計者としても有名な隈研吾氏に講演を頂くことになっております。

コロナ禍での開催で何かと不自由をおかけしますが、ご参加いただきますようお願いしております。

ホストクラブ 長崎中央ロータリークラブ

プログラム

11/27(土)

会場/出島メッセ長崎

- 13:00～ 本会議（第1部）
- 14:30～ 記念講演 隈研吾氏

隈 研吾

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。国内外で多数のプロジェクトが進行中。国立競技場の設計にも携わった。主な著書に『点・線・面』（岩波書店）、『ひとの住処』（新潮新書）、『負ける建築』（岩波書店）、『自然な建築』（岩波新書）、『小さな建築』（岩波新書）、他多数。

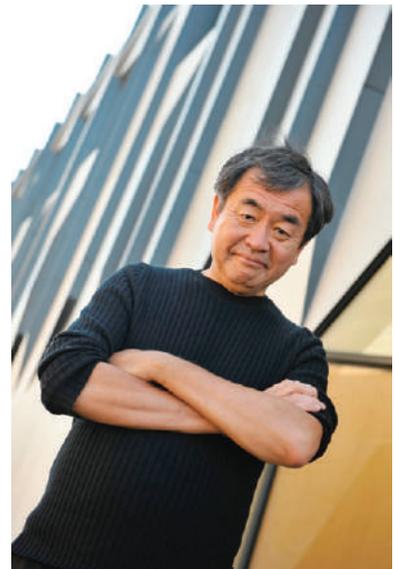
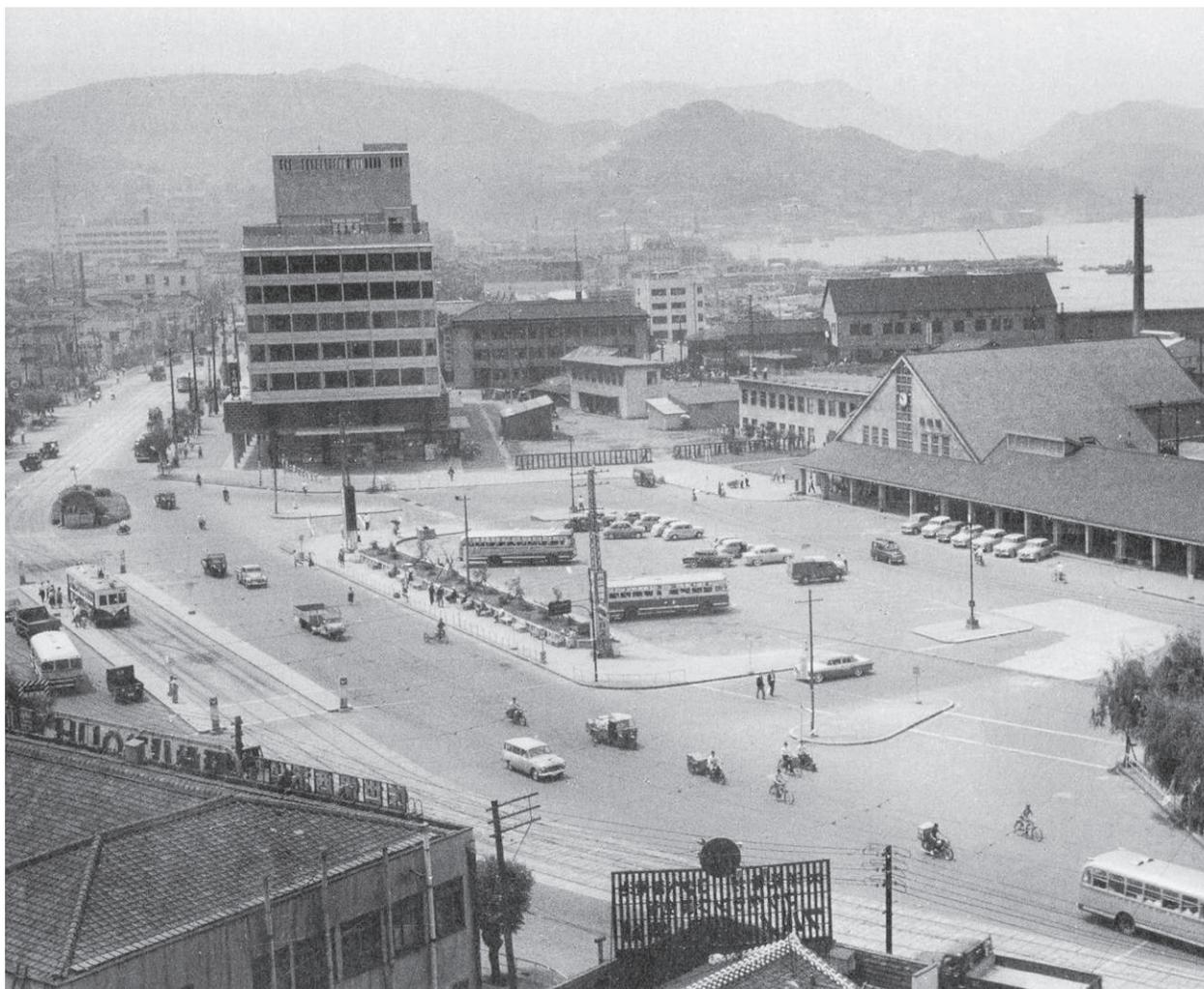


Photo (c) J.C. Carbonne

- 16:15～ 本会議（第2部）

例年行っておりましたRI会長代理歓迎晩餐会、セミナー、懇親会、親睦ゴルフ大会につきましては、時節柄、中止とさせていただきます

子どものころのわが町 長崎



昭和 30 年代 当時の長崎駅前の写真です。

三角屋根の駅舎前はずいぶん広く感じます。歩道橋を兼ねた高架広場がないせいでしょうか。

現在の長崎駅舎は、約 200 メートル程浦上川方面（西側）に移動しています。

写真集「長崎おもいで散歩」（真木満氏撮影）より

編集後記

オリンピック東京 2020 で熱戦が繰り上げられた一方で、長く続く大雨による甚大な被害が報告され、一刻も早い支援が望まれます。さらに、新型コロナウイルス感染者数が過去最高を記録し、各ロータリーアンも苦慮されていると思います。皆で助け合ってこの苦難を乗り越えましょう。

第2740地区ガバナー事務所

〒850-0045 長崎市宝町2-26

ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション内

TEL : 095-895-5330 FAX : 095-825-8587

E-mail : ri2740tsukasaki@joy.ocn.ne.jp

URL : <https://rotary2740.jp/> (7月1日よりホームページのURLが変更になりました)